

老年看護学

目標 I 加齢に伴う高齢者の生活と健康状態の変化について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
1. 高齢者の理解の基本となる概念	A. 老年期と発達・変化	a. ライフサイクルからみた高齢者	老年看護学① 1章-V ライフサイクルからみた老年期 (P22)	
		b. 加齢と老化	老年看護学① 1章-II-B 老化と加齢 (P6)	
		c. 発達課題	老年看護学① 1章-IV 高齢者の心理的特徴 (P19~22), V 高齢者のライフサイクルと発達課題 (P22~23), 2章-I-D 高齢者と生涯発達 (P34~35), III-A-1 老年看護の基本 (P39), III-B-1 高齢者の尊厳を支える (P42)	105-AM-49, 102-AM-61
	B. 高齢者の生活の質の保障	a. ノーマライゼーション	老年看護学① 2章-III-A-② 尊厳と権利擁護 (アドボカシー) (P39), 3章-I-D-2 高齢者の社会参加 (P60~63), IV 高齢者の権利擁護 (P91~103)	105-PM-48
		b. 自立支援	老年看護学① 2章-III-A-1-③ 自立支援とエンパワメント (P39), III-B-3 自立・自律を支えるエンパワメント (P42)	
		c. 多様な価値観	老年看護学① 1章-I 高齢者の生きてきた時代 (P2~4), IV-4 環境の変化への適応力 (P20~21), 2章-I-B 多様な高齢者像 (P27~31), III-B 老年看護実践の視点と役割 (P41~43), 3章-I-A 高齢者の生活を考える視点 (P52~53)	105-PM-61, 105-PM-99, 102-PM-58
	C. 加齢への適応	a. 喪失体験と獲得体験	老年看護学① 1章-IV-4 環境の変化への適応力 (P20~21), V 高齢者のライフサイクルと発達課題 (P22~23), 2章-I-D 高齢者と生涯発達 (P34~35)	
		b. サクセスフルエイジング	老年看護学① 4章-I-A-3 サクセスフル・エイジング (P110~112)	
		c. リハビリテーションの意味	老年看護学① 4章-III-A-1 高齢者のリハビリテーションの特徴 (P160~161)	
		d. 終末期のとらえ方	老年看護学① 2章-I-D 高齢者と生涯発達 (P34~35), III-B-4 老いのプロセスを支える (P42~43), 4章-V-A-1 高齢者の終末期のとらえかた (P171)	
		e. スピリチュアリティ	老年看護学① 4章-V-A-1 エンドオブライフ・ケア (P171), V-B-①-1) 痛み (P174)	
	D. 高齢者のいる家族の変化	a. 家族構成とニーズの変化	老年看護学① 5章-IV-A-1 高齢者がいる世帯の特徴 (P204~205)	
b. 高齢者のいる家族の発達課題		老年看護学① 3章-I-B-3 男性高齢者の孤立 (P54~55), 4章-II-B-2 家族形態の変化 (P93~94), 在宅看護論 2章-I-D 高齢者虐待防止に関する制度 (P61~63), 4章-VI 在宅看護と認知症ケア (P232~241), VII 在宅看護と要介護高齢者ケア (P242~255), VIII 在宅看護と介護予防 (P256~267), IX 在宅看護と高齢者虐待防止 (P268~278)		
c. 家族の機能の変化		老年看護学① 2章-I-A 家族機能の変化 (P26), 3章-I-B 高齢者と家族の状況 (P53~56), 5章-IV-A 高齢者を取り巻く家族の状況 (P204~206), IV-B 介護する家族の状況 (P206~210), 在宅看護論 3章-II 在宅看護における家族支援 (P110~126)	104-AM-101, 103-PM-53	
2. 高齢者の生活	A. 高齢者の機能と評価	a. 国際生活機能分類 (ICF)	公衆衛生学 1編-1章-I-D 健康の定義と公衆衛生 (P9~13), 老年看護学① 4章-I-A-2 老年期の健康のとらえかた (ICFモデル) (P107~109)	

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
2. 高齢者の生活	A. 高齢者の機能と評価	b. 高齢者総合機能評価<CGA>	老年看護学① 4章-II-B-4 入院中の高齢者に対する看護 (P141~142), 老年看護学② 1章-II 高齢者総合機能評価 (CGA) (P2~4)	104-PM-58
		c. 日常生活動作<ADL>	老年看護学① 3章-I-E-1-② IADL, BADLの低下 (P63), 5章-I-A-1 ●入院関連機能障害 (P184), 老年看護学② 1章-II-3-1 身体的機能 (日常生活機能) (P5~9)	
		d. 手段的日常生活動作<IADL>	老年看護学① 3章-I-E-1-② IADL, BADLの低下 (P63)	
		e. 障害高齢者の日常生活自立度<寝たきり度>判定基準	老年看護学② 3章-I-A 寝たきりと廃用症候群の病態と要因 (P126~129), 在宅看護論 4章-VII-A-2-1 要介護高齢者を表す用語 (P243~244)	
		f. 認知症高齢者の日常生活自立度<寝たきり度>判定基準	老年看護学② 3章-I-A-2 寝たきりと廃用症候群の背景 (P126~128)	
		g. 要介護・要支援の認定と区分	社会福祉 3章-VI-D-1 要介護・要支援認定 (P73~75), 老年看護学① 3章-II-B-③ 要介護認定~要介護・支援状態の区分とサービス (P79, 81)	
		h. 心理・情緒機能	老年看護学② 1章-II-3-2 心理的機能 (P12~21)	104-PM-59, 103-AM-97
		B. 高齢者の生活に関連する保健医療福祉制度	a. 医療保険制度	社会福祉 3章-II 医療保険制度 (P36~48), III 高齢者医療制度等 (P48~53), 関係法規 5章-A 高齢者の医療の確保に関する法律 (P112~113), 老年看護学① 3章-II-A 日本における保健医療福祉制度の変遷 (P68~77), II-D 後期高齢者医療制度 (P87)
	b. 介護保険制度		公衆衛生学 2編-4章-E 介護保険制度 (P232~237), 社会福祉 3章-VI 介護保険制度 (P65~83), 関係法規 5章-B 介護保険法 (P114~119), 老年看護学① 3章-II-B 介護保険制度 (P78~84)	106-AM-59
	c. 高齢者の人権に関する制度		公衆衛生学 2編-4章-D 高齢者の虐待防止 (P231), 関係法規 5章-C 老人福祉法 (P119~121), D 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律 (P121), 老年看護学① 3章-IV 高齢者の権利擁護 (P91~103)	
	C. その人らしい生活の継続	a. 時代背景に関連する人生と経験の多様性、生活史	老年看護学① 1章-I 高齢者の生きてきた時代 (P2~4), 2章-III 老年看護の役割 (P39~46)	
		b. 生活習慣、生活様式	老年看護学① 2章-III-C-1 高齢者の個別性の理解 (P44), 3章-I-A 高齢者の生活を考える視点 (P52~53), 老年看護学② 2章-VI 休息・睡眠の援助 (P85~92)	
		c. 生活リズム	老年看護学① 2章-III-C-1 高齢者の個別性の理解 (P44), 3章-I-A 高齢者の生活を考える視点 (P52~53), 老年看護学② 2章-VI 休息・睡眠の援助 (P85~92)	106-AM-55
		d. 治療・介護の必要度と生活の場	老年看護学① 2章-III-D 老年看護の場と期待される役割 (P45~46), 3章-II-C 高齢者の生活を支える地域包括ケアシステム (P85~86), 5章-I-B-5 ●生活の視点 (P188), II 在宅看護 (P188~196), III 施設看護 (P196~204)	
		e. 多様な生活の場とリロケーション	老年看護学① 3章-I 高齢者の生活 (P52~68)	
3. 高齢者の健康	A. 高齢者の健康と疾病	a. 高齢者の健康の特徴	老年看護学① 2章-I-C 高齢者の健康のとらえかた (P32~34), 3章-I-E 身体機能の低下による生活への影響 (P63~64), 4章-I-A-3 高齢者の健康の特徴 (P109~112)	
		b. 生理的老化と病的老化	老年看護学① 1章-II-B 老化と加齢 (P6)	106-PM-70

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
3. 高齢者の健康	A. 高齢者の健康と疾病	c. 高齢者の疾病の特徴	老年看護学① 4章-II-A-1 急性状況にある高齢者の疾患の特徴 (P138~139), IV-B 慢性疾患をもつ高齢者の特性 (P165~166)	
	B. 加齢に伴う身体機能の変化 105-PM-88, 104-AM-54, 102-AM-62	a. 神経系	老年看護学① 1章-II-A 老化のメカニズム (P4~6), II-C 身体的機能の加齢性変化と日常生活への影響 (P6~17)	
		b. 運動器系	老年看護学① 1章-II-A 老化のメカニズム (P4~6), II-C 身体的機能の加齢性変化と日常生活への影響 (P6~17)	
		c. 感覚器系	老年看護学① 1章-II-A 老化のメカニズム (P4~6), II-C 身体的機能の加齢性変化と日常生活への影響 (P6~17)	106-AM-57
		d. 循環器系	老年看護学① 1章-II-A 老化のメカニズム (P4~6), II-C 身体的機能の加齢性変化と日常生活への影響 (P6~17)	
		e. 血液・造血管系	老年看護学① 1章-II-A 老化のメカニズム (P4~6), II-C 身体的機能の加齢性変化と日常生活への影響 (P6~17)	
		f. 免疫系	老年看護学① 1章-II-A 老化のメカニズム (P4~6), II-C 身体的機能の加齢性変化と日常生活への影響 (P6~17)	
		g. 呼吸器系	老年看護学① 1章-II-A 老化のメカニズム (P4~6), II-C 身体的機能の加齢性変化と日常生活への影響 (P6~17)	
		h. 消化器系	老年看護学① 1章-II-A 老化のメカニズム (P4~6), II-C 身体的機能の加齢性変化と日常生活への影響 (P6~17)	106-AM-56
		i. 代謝系	老年看護学① 1章-II-A 老化のメカニズム (P4~6), II-C 身体的機能の加齢性変化と日常生活への影響 (P6~17)	
		j. 泌尿器	老年看護学① 1章-II-A 老化のメカニズム (P4~6), II-C 身体的機能の加齢性変化と日常生活への影響 (P6~17)	
	k. 内分泌	老年看護学① 1章-II-A 老化のメカニズム (P4~6), II-C 身体的機能の加齢性変化と日常生活への影響 (P6~17)		
	l. 生殖器系	老年看護学① 1章-II-A 老化のメカニズム (P4~6), II-C 身体的機能の加齢性変化と日常生活への影響 (P6~17)		
	C. 加齢に伴う認知機能の変化	a. 知能	老年看護学① 1章-III 高齢者の知的機能・認知機能の特徴 (P18~19)	
	b. 記憶力、判断力、計算力、遂行力	老年看護学① 1章-III 知的機能・認知機能の加齢変化と日常生活への影響 (P19)		
D. 加齢に伴う心理・社会的変化	a. 役割と社会活動の変化	老年看護学① 3章-I-B-1 家族のライフサイクルからみた老年期 (P53), I-D-2 高齢者の社会参加 (P60~62)	103-PM-55	
	b. 余暇活動と生きがい	老年看護学① 3章-I-D 高齢者の生きがいと社会生活 (P59~62)	104-PM-99	
	c. 住宅環境	老年看護学① 3章-I-C-2 高齢者の住生活 (P58~59), 老年看護学② 2章 環境整備 (P92~100), 2章-III 転倒・転落予防の援助 (P60~67)		
	d. 就労、雇用	老年看護学① 3章-I-C-1 高齢者の経済状況 (P56~58)	106-PM-46	
	e. 収入、生計	老年看護学① 3章-I-C-1 高齢者の経済状況 (P56~58)		
4. 老年看護の基本	A. 老年看護の変遷	a. 高齢者に関する保健医療福祉の変遷	公衆衛生学 2編4章-B 高齢者の保健医療福祉施策の推移 (P230~231), 老年看護学① 3章-II-A 日本における保健医療福祉制度の変遷 (P68~77)	

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
4. 老年看護の基本	A. 老年看護の変遷	b. 概念(エンパワメント、ストレングスモデル、ライフレビュー、コンフォート理論)の活用	老年看護学① 2章-II 老年看護のなりたち (P36~38), III-A-1-③ 自立支援とエンパワメント (P39), III-B-3 自立・自律を支える-エンパワメント (P42), IV 老年看護を支える看護理論 (P46~49)	
		B. 老年看護の倫理 102-PM-59	a. 高齢者差別の防止	老年看護学① 3章-IV-A-1 エイジズムと高齢者差別 (P91~92)
	b. 高齢者虐待の防止		老年看護学① 3章-IV-B 高齢者に対する虐待 (P95~98)	104-PM-57
	c. 安全確保と身体拘束		老年看護学① 3章-IV-C 身体拘束 (P98~100)	
	d. 高齢者の権利擁護<アドボカシー>		老年看護学① 3章-IV-A-2 高齢者の権利擁護 (アドボカシー) (P92~95), D-3 消費者契約と民法第96条 (P102), D-4 法テラス (P102~103)	
	e. 認知症高齢者の権利擁護<アドボカシー>		社会福祉 5章-V-C-1-2) 日常生活自立支援事業と成年後見制度 (P185), 老年看護学① 3章-IV-A-2 高齢者の権利擁護 (アドボカシー) (P92~95), D 高齢者の権利を守る制度 (P101~103)	
	f. 高齢者の意思決定への支援		社会福祉 5章-V-C-1-2) 日常生活自立支援事業と成年後見制度 (P185), 老年看護学① 2章-III-B-3 自立・自律を支える-エンパワメント (P42), 3章-IV-A-2 高齢者の権利擁護 (アドボカシー) (P92~95), 4章-II-E-3 インフォームドコンセントと看護の役割 (P152), 5章-I-B 退院支援における看護の役割と実際 (P185~188)	
	g. 終末期における生き方や死の迎え方の意向		老年看護学① 4章-V-A-3-3) 本人の意思決定が明確でない (P173)	
	C. 老年看護の特徴 106-AM-54	a. 安全・安楽な生活の援助	老年看護学① 2章-III-A-2 高齢者における安全・安楽 (P40)	
		b. 健康の保持増進と廃用症候群の予防	老年看護学① 4章-I-E-2 生活習慣病の予防 (P129~133)	102-AM-63
		c. 疾患の治癒・回復の特徴に応じた援助	老年看護学① 4章 経過別にみた老年看護 (P106~180)	105-AM-99, 103-AM-99
		d. 個別の日常生活能力、目標に合わせた援助	老年看護学① 2章-III 老年看護の役割 (P39~46)	
		e. 人生の統合をはかる支援	老年看護学① 2章-III-C-4 人生の統合に向けた支援 (P44)	
		f. 家族との協働	老年看護学① 2章-III-C-5 家族や介護者との協働: 認知症高齢者、独居高齢者への支援 (P45), 老年看護学② 2章-III-A-2 家族の参加 (P21)	
		g. 安全管理<セーフティマネジメント>	老年看護学① 6章-I 高齢者における医療安全 (P216~225), 老年看護学② 2章-III-B 実施に際しての協力体制づくり (P21~22)	
		h. チームアプローチ(多職種連携)	老年看護学① 2章-III-B-6 関係職種とのチームアプローチ (P43), 3章-III 多職種連携による高齢者ケア (P88~90)	
		i. 地域包括ケアシステム	老年看護学① 3章-II-A-5-② 地域包括ケアシステム (P74), II-C 高齢者の生活を支える地域包括ケアシステム (P85~86), 5章-II-B 高齢者を地域で包括的に支えるシステム (P190~193)	

目標Ⅱ

さまざまな健康状態にある高齢者と家族の生活および健康を支える看護についての基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
5. 高齢者の生活を支える看護	A. コミュニケーション	a. コミュニケーション能力	老年看護学② 2章-I コミュニケーションの援助 (P40~48)	
		b. コミュニケーションを促す要素と阻害要因	老年看護学② 2章-I-4 コミュニケーションの援助を行う根拠 (P41~42), I-5 コミュニケーションの援助のためのアセスメント項目 (P43~46)	
		c. 高齢者とのコミュニケーションの方法	老年看護学② 2章-I-6 コミュニケーションの援助の実際 (P47~48)	
	B. 寛ぎ、安心、安全	a. 寛ぎ、安心、安全	老年看護学② 2章-VII 環境整備 (P92~100)	
		b. 寛ぎ・安心・安全の確保のための援助	老年看護学② 2章-VII 環境整備 (P92~100)	
	C. 歩行、移動、姿勢保持	a. 歩行、移動動作、姿勢保持	老年看護学② 2章-II 基本動作の援助 (P49~59)	104-PM-98
		b. 歩行・移動動作・姿勢保持のための援助	老年看護学② 2章-II 基本動作の援助 (P49~59)	
		c. 転倒・転落の発生の要因	老年看護学① 1章-II-C-6-② ●転倒 (P14), 4章-II-B-4-③-2) 転倒予防 (P142~143), III-B-2 転倒リスク (P163), 6章-I-D-2 転倒 (P220~221), 老年看護学② 2章-III 転倒・転落予防の援助 (P60~67)	
		d. 転倒・転落の防止	老年看護学① 4章-II-B-4-③-2) 転倒予防 (P142~143), 6章-I-D-2 転倒 (P220~221), 老年看護学② 2章-III 転倒・転落予防の援助 (P60~67)	104-AM-55
		e. 転倒の影響	老年看護学① 1章-II-C-6-② ●骨折, ●転倒・骨折による影響 (P15), 老年看護学② 2章-III 転倒・転落予防の援助 (P60~67), 4章-II-B-4-③-2) 転倒予防 (P142~143)	
	D. 食生活	a. 食生活の状況	老年看護学② 2章-VIII 食事の援助 (P100~107)	105-AM-97
		b. 嚥下能力・嗜好性・環境に応じた食生活の援助	老年看護学② 2章-VIII-6 食事の援助の実際 (P108~112)	102-PM-107
	E. 排泄	a. 排泄の状況	老年看護学② 2章-IV 排泄 (排尿・排便)の援助 (P68~75)	105-PM-50, 105-PM-97
		b. 排泄能力の変化に応じた援助	老年看護学② 2章-IV-5 排泄の援助の実際 (P75~79)	105-PM-98
	F. 清潔、身だしなみ、衣生活	a. 清潔・身だしなみの行為	老年看護学② 2章-V 清潔・整容の援助 (P79~84)	
		b. 更衣動作	老年看護学② 3章-VII-D 衣環境 (P77~79)	
		c. 入浴行動に伴う危険性、負担に応じた清潔・衣生活の援助	老年看護学② 3章-VI-C-2 整容と身だしなみ (P68~69)	
	G. 活動と休息	a. 活動と休息	老年看護学② 2章-VI 休息・睡眠の援助 (P85~89)	
		b. 生活リズムの調整	老年看護学② 2章-VI-6 休息・睡眠の援助の実際 (P90~92)	

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
5. 高齢者の生活を支える看護	H. 性(セクシュアリティ)	a. 性(セクシュアリティ)	老年看護学② 2章-IX セクシュアリティを考慮した援助 (P112~116)	
		b. 性(セクシュアリティ)への援助	老年看護学② 2章-IX-6 セクシュアリティを考慮したケアの実際 (P116~117)	
	I. 社会参加	a. 社会参加の状況	老年看護学② 2章-X 社会参加を促す援助 (P118~120)	
		b. 生きがいが持てる身近な場所への参加の援助	老年看護学② 2章-X-6 社会参加を促す援助の実際 (P121~122)	
6. さまざまな健康状態や受療状況に応じた高齢者の看護	A. 健康の維持と介護予防	a. 健康の維持・増進の状況	公衆衛生学 2編-4章-C 高齢者の福祉にかかわる施策 (P231), 老年看護学① 4章-I-A 高齢者の健康 (P106~112)	
		b. 受療状況	公衆衛生学 2編-4章-A 高齢者の健康と生活 (P228~229), 老年看護学① 4章-I-A-1 ●高齢者の健康 (P106~107)	
		c. 介護予防の促進と評価	公衆衛生学 2編-4章-B 高齢者の保健医療福祉施策の推移 (P230~231), C 高齢者の福祉にかかわる施策 (P231), G 高齢者保健福祉の課題と展望 (P237~240), 老年看護学① 4章-I-C 介護予防(転倒予防, ロコモ予防) (P116~123)	
		d. フレイル	老年看護学① 2章-I-C-2 虚弱(フレイル) (P32~34)	
	B. 急性期の高齢者への看護	a. 急性期の高齢者の特徴	老年看護学① 4章-II-A 高齢者に対する急性期看護とは (P138~139)	106-AM-115
		b. 手術療法を受ける高齢者の援助	老年看護学① 4章-II-E 手術を受ける高齢者への看護 (P149~153), 老年看護学② 5章-II 大腿骨頸部骨折で入院した高齢患者の看護 (P347~351)	106-PM-49, 103-PM-99
		c. 手術療法以外の急性期の高齢者の援助	老年看護学① 2章-II 急性期における看護 (P138~159), 老年看護学② 5章-I 肺炎で入院した認知症患者の看護 (P342~346)	
	C. 慢性期の高齢者への看護	a. 慢性期の高齢者の特徴	老年看護学① 4章-IV-B 慢性疾患をもつ高齢者の特性 (P165~166)	
		b. 慢性期の高齢者の援助	老年看護学① 4章-IV 慢性期における看護 (P164~170)	
	D. 回復期の高齢者への看護	a. 回復期の高齢者の特徴	老年看護学① 4章-III-B 高齢者のリハビリテーションにおける留意点 (P163~164)	
		b. 生活機能の維持と向上	老年看護学① 4章-III-A リハビリテーションとは (P159~163)	
		c. リハビリテーションを受ける高齢者の援助	老年看護学① 4章-III-A-1 高齢者のリハビリテーションの特徴 (P160~161), 老年看護学② 4章 高齢者とリハビリテーション (P127~155)	103-PM-98, 102-PM-106
	E. エンド・オブ・ライフ・ケア<end-of-life care>	a. 身体徴候のアセスメントと援助	老年看護学① 4章-V-B-①-1) 痛み~B-①-4) 呼吸困難や喀痰による困難症状 (P174~175), 老年看護学② 5章 終末期ケア (P157~165)	
		b. 苦痛の緩和と安楽への援助	老年看護学① 4章-V-B-① 終末期に必要な看護の視点とアセスメント (P174~176), 老年看護学② 5章-III-B 必要な看取りの援助 (P161~164)	105-PM-51
		c. 精神的苦痛や混乱に対する援助	老年看護学① 4章-V-B-①-5) 精神的苦痛・混乱・せん妄 (P175~176), 老年看護学② 5章-III-B 必要な看取りの援助 (P161~164)	
		d. 臨死期の評価と援助	基礎看護学② 3編-2章-II-A 臨終前後の患者の状態 (P361~363), II-B 臨終間近の看護 (P363~365), 老年看護学① 4章-V-A-3 高齢者の終末期ケアにおける課題 (P172~173)	
e. 家族の参加と家族への援助		老年看護学① 4章-V-B-②-2) 在宅での終末期~C-② 看取りのときの家族へのかかわり (P178~179), 老年看護学② 5章-III-C 家族を支える (P164~165)	105-AM-52, 103-AM-102	
f. グリーフケア		老年看護学① 4章-V-C 家族へのグリーフケア (P179~180)		

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
6. さまざまな健康状態や受療状況に応じた高齢者の看護	F. 外来を受診する高齢者の看護 103-PM-56*	a. 外来受診時の高齢者の特徴	老年看護学① 4章-II-C 外来における看護 (P145~146), IV-D 外来受診時の看護 (P169~170)	
		b. 診察時の援助	老年看護学① 4章-II-C-2-② 検査時、治療時の看護 (P145~146), 老年看護学② 6章-V-C 外来における看護 (P207~211)	
		c. 疾患・治療の理解と治療継続への援助	老年看護学① 4章-II-C-2 外来における高齢者の看護 (P145~146)	
	G. 検査を受ける高齢者の看護	a. 安全・安楽な検査の実施	老年看護学① 4章-II-C-2-② 検査時、治療時の看護 (P145~146), 老年看護学② 6章-II 検査を受ける患者への援助 (P176~181)	
		b. 加齢による検査結果への影響	老年看護学① 4章-II-C-2-② 検査時、治療時の看護 (P145~146), 老年看護学② 6章-II 検査を受ける患者への援助 (P176~181)	
	H. 薬物治療を受ける高齢者の看護	a. 加齢に伴う薬物動態の変化	老年看護学① 4章-II-D-1 高齢者における薬物動態と薬力学の特徴 (P146~147), 老年看護学② 6章-III-A 高齢者と薬 (P181~182)	102-PM-62
		b. 服薬管理とリスクマネジメント	老年看護学① 4章-II-D-3 薬物療法を受ける高齢者への看護 (P147~149), 老年看護学② 6章-III-A 高齢者と薬 (P181~182), III-B 薬物療法時の看護の要点 (P182~196)	104-AM-99
	7. 高齢者に特有な症候・疾患・障害と看護	A. 廃用症候群	a. 加齢による病態と要因	老年看護学① 2章-I-C-1 生活の質 (QOL) ということ (P45~46), 3章-IV-B-3-1 寝たきりの原因と誘因 (P107), 4章-I-E-2-①-2) ●廃用症候群 (P129~130), 老年看護学② 3章-I-A 寝たきりと廃用症候群の病態と要因 (P126~129)
b. アセスメント			老年看護学② 3章-I-B 寝たきりと廃用症候群のアセスメント (P129~131), 4章-I-E-2-①-2) 廃用症候群 (P129~130)	
c. 予防と援助			老年看護学② 3章-I-C 寝たきりと廃用症候群の看護 (P131), 4章-I-E-2-①-2) 廃用症候群 (P129~130)	
B. 脱水症		a. 加齢による病態と要因	老年看護学② 3章-III-A 高齢者の脱水の要因 (P134~135)	102-PM-86
		b. アセスメント	老年看護学② 3章-III-B 脱水のアセスメントと看護 (P136)	104-AM-97
		c. 予防と援助	老年看護学② 3章-III-B 脱水のアセスメントと看護 (P136)	
C. 摂食・嚥下障害		a. 加齢による病態と要因	老年看護学② 2章-VII-4 食事の援助を行う根拠 (P101~102)	
		b. アセスメント	老年看護学② 2章-VII-5 食事の援助のためのアセスメント (P102~105)	
		c. 予防と援助	老年看護学① 4章-I-C-4-② 嚥下障害の予防 (P123), 老年看護学② 2章-VII-6 食事の援助の実際 (P108~112), 5章-I-4-2-1) 誤嚥の予防 (P345~346)	104-PM-60
D. 低栄養		a. 加齢による病態と要因	老年看護学① 1章-II-C-4-② 高齢者と低栄養~低栄養の検査・診断 (P12), 老年看護学② 2章-VII-4 食事の援助を行う根拠 (P101~102)	103-PM-59
		b. アセスメント	老年看護学② 1章-III-B-9 栄養状態のアセスメント (P33~35), 2章-VII-5 食事の援助のためのアセスメント項目 (P102~107)	105-AM-51
		c. 予防と援助	老年看護学① 3章-III 多職種連携による高齢者ケア (P88~90), 4章-I-E-2-②-1) 低栄養予防 (P132), 老年看護学② 2章-VII-6 食事の援助の実際 (P108~112)	
E. 尿失禁		a. 加齢による病態と要因	老年看護学① 1章-II-C-5-① 尿失禁 (P12~13), 老年看護学② 2章-IV-4 排泄の援助を行う根拠 (P69)	

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
7. 高齢者に特有な症候・疾患・障害と看護	E. 尿失禁	b. アセスメント	老年看護学① 1章-II-C-5-② 尿失禁の影響 (P13), 老年看護学② 1章-III-B-8 排泄・失禁のアセスメント (P31~33), 2章-IV-5 排泄の援助のためのアセスメント項目 (P69~75)	
		c. 予防と援助	老年看護学② 2章-IV-6 排泄の援助の実際 (P75~79)	106-PM-81, 103-AM-98
	F. 便秘・下痢	a. 加齢による病態と要因	老年看護学② 2章-IV-4 排泄の援助を行う根拠 (P69)	102-PM-64
		b. アセスメント	老年看護学② 1章-III-B-8 排泄・失禁のアセスメント (P31~33), 2章-IV-5 排泄の援助のためのアセスメント項目 (P69~75)	
		c. 予防と援助	老年看護学② 2章-IV-6 排泄の援助の実際 (P75~79)	106-PM-47
	G. 睡眠障害	a. 加齢による病態と要因	老年看護学② 2章-IV-4 休息・睡眠の援助を行う根拠 (P86)	
		b. アセスメント	老年看護学② 1章-III-B-11 睡眠のアセスメント (P36~37), 2章-IV-5 休息・睡眠の援助のためのアセスメント項目 (P86~89)	
		c. 予防と援助	老年看護学② 2章-IV-6 休息・睡眠の援助の実際 (P90~92)	
	H. 視覚障害	a. 加齢による病態と要因	老年看護学① 1章-II-C-7-①● 視力~②● 視力 (P15~16), 老年看護学② 4章-X-A 緑内障 (P293~296), X-B 糖尿病網膜症 (P297~299), X-C 加齢黄斑変性 (P299~301), X-D 白内障 (P301~302)	105-PM-75, 102-PM-75
		b. アセスメント	老年看護学② 1章-III-B-10-1 視覚の機能の低下とアセスメント (P35), 4章-X-A 緑内障 (P293~296), X-B 糖尿病網膜症 (P297~299), X-C 加齢黄斑変性 (P299~301), X-D 白内障 (P301~302)	
		c. 予防と援助	老年看護学② 4章-X-A 緑内障 (P293~296), X-B 糖尿病網膜症 (P297~299), X-C 加齢黄斑変性 (P299~301), X-D 白内障 (P301~302)	
	I. 聴覚障害	a. 加齢による病態と要因	老年看護学② 4章-X-E 難聴 (P303~305)	
		b. アセスメント	老年看護学① 1章-IV-A-2-5-2) 聴機能の低下 (P22), 老年看護学② 1章-III-B-10-2 聴覚の機能の低下とアセスメント (P35~36), 4章-X-E 難聴 (P303~305)	
		c. 予防と援助	老年看護学① 1章-IV-A-2-5-2) 聴機能の低下 (P22), 老年看護学② 4章-X-E 難聴 (P303~305)	104-AM-58, 103-AM-56
	J. 皮膚の障害	a. 加齢による病態と要因	老年看護学① 1章-II-C-7-① ● 皮膚~② ● 皮膚 (P16), 老年看護学② 3章-IV-A かゆみの病態と要因 (P136~137)	
		b. アセスメント	老年看護学② 3章-IV-B かゆみの症状と生活への影響のアセスメント (P137~138)	
		c. 予防と援助	老年看護学② 3章-IV-C かゆみの予防と看護 (P138~139)	104-AM-57
	K. 認知症	a. 加齢による病態と要因	老年看護学② 4章-I-A 認知症の知識 (P150~157)	
		b. 環境と行動・心理症状	老年看護学① 4章-II-H-1 急性期病院における認知症をもつ高齢者の看護 (P156~157), 老年看護学② 4章-I-A-2 認知症の病態・症状 (P151~154)	
		c. 認知機能の評価	老年看護学② 4章-I-A-3 認知症の検査・診断・治療 (P154~157), I-B-2 アセスメントの視点 (P158~159)	106-AM-119, 104-AM-100
d. 予防治療、療法的アプローチ		老年看護学① 4章-I-D 認知症予防 (P124~127), 老年看護学② 4章-I-B 認知症の看護 (P157~166), 7章-E-7-7 認知症の予防 (P246)	105-PM-102*, 102-PM-60	

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
7. 高齢者に特有な症候・疾患・障害と看護	K. 認知症	e. コミュニケーション方法、療養環境の調整	老年看護学① 4章-II-H-3-② 基本的なコミュニケーション～③ 環境調整のポイント (P158～159), 老年看護学② 4章-I-B 認知症の看護 (P157～166)	106-PM-95, 105-PM-101, 105-PM-102*, 104-AM-56, 102-PM-61
		f. 急性期一般病床での援助	老年看護学① 4章-II-H 認知症をもつ高齢者に対する急性期看護 (P156～159)	106-PM-94
		g. 家族への支援とサポートシステム	老年看護学② 7章-E-7-5) 家族に対する援助 (P243～244)	
	L. せん妄	a. 加齢による疾患の特徴と要因	老年看護学① 4章-II-B-4-③-1) せん妄予防 (P142), 老年看護学② 4章-II-E-1 疾患の概要 (P181), E-2 病態・症状 (P181～182)	103-PM-56*
		b. 症状と生活への影響のアセスメント	老年看護学① 4章-II-B-4-③-1) せん妄予防 (P142), 老年看護学② 4章-II-E-5 アセスメントの視点 (P183)	
		c. 予防、治療と援助	老年看護学① 4章-II-B-4-③-1) せん妄予防 (P142), 老年看護学② 4章-II-E-3 検査・診断・治療 (P182～183)	104-AM-98, 103-PM-97
	M. うつ病	a. 加齢による疾患の特徴と要因	老年看護学① 1章-IV-5 ●高齢者のうつ (P21～22), 老年看護学② 4章-II-D-1 疾患の概要 (P177), D-2 病態・症状 (P177)	103-AM-58
		b. 症状と生活への影響のアセスメント	老年看護学① 1章-IV-5 ●高齢者のうつ (P21～22), 老年看護学② 4章-II-D-5 アセスメントの視点 (P179)	106-PM-48
		c. 予防、治療と援助	老年看護学① 1章-IV-5 ●高齢者のうつ (P21～22), 老年看護学② 4章-II-D-3 検査・診断・治療 (P178～179), D-4 看護の概要 (P179), D-6 生じやすい看護問題 (P179～180), D-7 目標と看護 (P180)	
	N. Parkinson (パーキンソン)症候群	a. 加齢による疾患の特徴と要因	老年看護学② 4章-II-C-1 疾患の概要 (P172), C-2 病態・症状 (P172～173)	104-PM-61
		b. 症状と生活への影響のアセスメント	老年看護学② 4章-II-C-5 アセスメントの視点 (P175)	
		c. 予防、治療と援助	老年看護学② 4章-II-C-3 検査・診断・治療 (P173～174), C-4 看護の概要 (P175), C-6 生じやすい看護問題 (P175～176), C-7 目標と看護 (P176～177)	
	O. 骨粗鬆症	a. 加齢による疾患の特徴と要因	老年看護学① 1章-II-C-6 骨・筋・運動器系の加齢性変化と日常生活への影響 (P13～15), 4章-I-C-2-① 骨粗鬆症 (P117～119), 老年看護学② 4章-VII-D-1 疾患の概要 (P272), D-2 病態・症状 (P272)	104-PM-97
		b. 症状と生活への影響のアセスメント	老年看護学① 4章-I-C-2-① 骨粗鬆症 (P117～119), 老年看護学② 4章-VII-D-5 アセスメントの視点 (P274)	106-PM-91, 104-PM-97
		c. 予防、治療と援助	老年看護学① 4章-IV-B-3 寝たきりの予防対策 (P107～111), VII-D-4 看護の概要 (P273～274), D-6 生じやすい看護問題 (P274), D-7 目標と看護 (P274～275)	
	P. 骨折	a. 加齢による疾患の特徴と要因	成人①運動器 1編-5章-I-A-1-1 骨折の種類 (P102～106), 老年看護学① 1章-II-C-6 骨・筋・運動器系の加齢性変化と日常生活への影響 (P13～15)	
		b. 症状と生活への影響のアセスメント	成人①運動器 1編-5章-I-A-1-3 骨折の症状、副損傷・合併症 (P109～113), 老年看護学① 1章-II-C-6 骨・筋・運動器系の加齢性変化と日常生活への影響 (P13～15)	
		c. 予防、治療と援助	成人①運動器 1編-5章-I-A-2 主な骨折 (P117～131)	106-PM-96, 103-PM-57, 102-AM-66

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
7. 高齢者に特有な症候・疾患・障害と看護	Q. 感染症	a. 加齢による疾患の特徴と要因	老年看護学② 4章-XI-A MRSA感染症 (P308~309), XI-B ノロウイルス感染症 (P309~314)	
		b. 症状と生活への影響のアセスメント	老年看護学② 4章-XI-A-5 アセスメントの視点 (P309), XI-B-5 アセスメントの視点 (P310)	
		c. 予防、治療と援助	老年看護学② 4章-XI-A-3 検査・診断・治療 (P308~309), A-4 看護の概要 (P309), A-6 生じやすい看護問題 (P309), A-7 目標と看護 (P309), XI-B-3 検査・診断・治療 (P310), B-4 看護の概要 (P310), B-6 生じやすい看護問題 (P310), D-7 目標と看護 (P310~314)	102-AM-65
	R. L~Q以外の高齢者に特有な疾患	a. 加齢による疾患の特徴と要因	老年看護学② 4章 高齢者に特有の疾患と看護 (P150~314)	
		b. 症状と生活への影響のアセスメント	老年看護学② 4章 高齢者に特有の疾患と看護 (P150~314)	
		c. 予防、治療と援助	老年看護学② 4章 高齢者に特有の疾患と看護 (P150~314)	106-AM-120
8. 治療・介護を必要とする高齢者の家族の看護	A. 高齢者の家族の健康と生活への影響	a. 看護の対象としての家族	老年看護学① 5章-IV-C 介護する家族への看護 (P210~213)	
		b. 介護者の健康	老年看護学① 5章-IV-C-1 主介護者の健康と生活 (P210~211)	
		c. 介護者の社会生活	老年看護学① 5章-IV-C-1 主介護者の健康と生活 (P210~211)	
	B. 家族全体への影響と介護への適応	a. 家族システムのアセスメント	老年看護学① 5章-II 家族への支援 (P82~85), IV-C-2 高齢者を取り巻く家族介護者への支援 (P211~213),	103-AM-60, 103-AM-101
		b. 家族の発達課題とニーズの競合	老年看護学① 3章-I-B-1 家族のライフサイクルからみた老年期 (P53~54), 5章-IV-C-2-1) 家族が受けている状況を把握する (P212)	103-AM-100
		c. 介護状況と介護力の評価	老年看護学① 5章-IV-C-2-2) 家族の対応能力を知る (P212)	
		d. 介護への適応のための援助	老年看護学① 5章-IV-C-2-3) 家族の適応状況をみる (P213)	106-AM-118, 106-PM-45, 102-PM-108

目標Ⅲ 多様な生活の場で高齢者の健康を支える看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
9. 多様な生活の場で展開する高齢者への看護	A. 医療施設に入院する高齢者の暮らしと看護	a. 医療施設の種類と特徴	老年看護学① 4章-V-D-1 介護療養型医療施設 (P119~120), 5章-Ⅲ-A-1 介護療養型医療施設の特徴と看護 (P196~197)	
		b. 入院する高齢者の暮らしの特徴と看護の役割	老年看護学① 5章-Ⅲ-A-1 介護療養型医療施設の特徴と看護 (P196~197)	
	B. 介護保険施設等に入所する高齢者の暮らしと看護	a. 介護保険施設等の種類と特徴	老年看護学① 4章-V-D-2 介護老人保健施設 (P120~121), D-3 介護老人福祉施設 (P121~122), 5章-Ⅲ-A-2 介護老人保健施設の特徴と看護 (P197~198), A-3 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)の特徴と看護 (P198~199)	105-AM-74, 104-AM-102

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
9. 多様な生活の場で展開する高齢者への看護	C. 地域密着型サービス、居宅サービスを利用する高齢者の暮らしと看護	a. 地域密着型サービス、居宅サービスの種類と特徴(認知症対応型共同生活介護)	老年看護学① 5章-Ⅲ-B 地域密着型サービス (P200~204), 在宅看護論 2章-I-B-4 介護保険制度の概要 (P45~51)	105-AM-74, 104-AM-59, 103-PM-58, 102-AM-67, 102-PM-63
		b. サービスを利用する高齢者の暮らしの特徴と看護の役割	老年看護学① 5章-Ⅲ-B 地域密着型サービス (P200~204)	
	D. 生活の場の移動と看護の継続	a. 入院時・入所時・サービス利用開始時の援助	老年看護学① 4章-II-B-4 入院中の高齢者に対する看護 (P141~144)	
		b. 退院支援、退所支援	老年看護学① 5章-I 退院支援 (P184~188)	
		c. 看護職間の情報提供、目標の共有と評価	老年看護学① 5章-I-B 退院支援における看護の実際と役割 (P185~188)	
	E. 長期入院・入所高齢者の看護	a. 長期入院・入所高齢者のアセスメント	老年看護学① 4章-II-B-4-1 入院時のアセスメント (P141~142)	
		b. 長期入院・入所高齢者の生活上の課題と援助	老年看護学① 5章-I-B-5 高齢者の退院支援の特徴と留意点 (P187~188)	
	F. 福祉用具・介護用品の活用	a. 適応・活用状況に関するアセスメント	老年看護学② 2章-II-5 基本動作の援助のためのアセスメント項目 (P50~57)	
		b. 安全で有効な活用の支援	老年看護学② 2章-II-6 基本動作の援助の実際 (P57~59)	
	G. 看護と介護の協働と連携	a. 介護職員の専門性と役割の共有	老年看護学① 4章II-B-4-2)-(4) 在宅サービスとの連絡・調整 (P144)	
		b. 介護職員による医療行為	老年看護学① 5章Ⅲ-A 介護保険施設 (P196~200)	
	H. 多職種連携、チームアプローチ	a. 多職種の中での専門性の発揮	老年看護学① 3章-Ⅲ-2 高齢者ケアとチームメンバー (P89)	
		b. 目標達成に向けた連携の方法	老年看護学① 3章-Ⅲ 多職種連携による高齢者ケア (P88~90)	
	I. 高齢者に特徴的な災害時の看護	a. 避難・誘導方法	老年看護学① 6章-II-C-1 災害発生期(災害発生時) (P227~228)	
		b. 避難所での生活と健康の維持	老年看護学① 6章-II-B-3 生活の拠点の適応困難 ~II-C-3 亜急性期(災害発生 72時間~1カ月) (P226~230)	
		c. 福祉避難所における援助	老年看護学① 6章-II-C-2 ●急性期での高齢者のリスク⑧ (P229)	